


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



8月のアルミ概況及び9月の見通し (3)

予想レンジ		
LME現物後場買い	2,600-2,650ドル	*
スクラップ	据え置きから+5円 (前月最終価格より)	*
為替	109-111円	変わらず (1か月間TTM)

■国内概況まとめ

自動車生産

生産動態統計によると、7月の自動車生産台数は、前年比で+2.2%の68万8,771台。輸出は、同じく+22.5%の34万9,841台。

日本自動車販売協会連合会によると、8月の自動車販売台数(軽除く)は、前年比で+4.4%の20万6,568台。

内訳

乗用車	+3.7%
貨物	+9%
バス	+4.7%

【住宅着工戸数】

7月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比9.9%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比6.9%の増加となった。

○新設住宅着工戸数	77,182戸
前年同月比	9.9%増
	5か月連続の増加
○新設住宅着工床面積	6,352千㎡
前年同月比	13.1%増
	4か月連続の増加
○季節調整済年率換算値	926千戸
前月比	6.9%増
	3か月ぶりの増加

アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は、前年比で+16%の16万4,416t。7か月連続プラス。

板類	10万2,400t +14.6%	7か月連続プラス
押出類	6万2,016t +16%	5か月連続プラス

アルミニウム二次合金 同合金地金等生産実績

前年比で+37.3%の7万2,330t。9か月連続プラス。出荷は、同じく+32.5%の7万1,811t。9か月連続プラス。

輸出

アルミ新地金が、前年比で+69.1%の162t。二次合金が、同じく+38.6%の2,236t。スクラップは、同じく+21.1%の2万3,930t。アルミ缶が、同じく+8.5%の7,340t。

輸入

アルミ新地金が、前年比で+10.2%の9万7,413t。二次合金が、+89.1%の7万6,709t。スクラップは、-47.1%の304t。合金スクラップが、+107%の5,148t。

■見通し

自動車

7月の自動車生産が前年比+2.21%。6月の国内販売台数が同じく+4.4%。生産の増加幅が極端に減少。半導体以外の中国からの部品供給の遅れか。同じく販売の増加率が減ってきている。今後は増加していくのか注視。

アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比で+16%の16万4,416t。7か月連続プラス。今後プラスが続くかの動向を注視。

アルミニウム二次合金 同合金地金等生産実績

生産は前年比で+37.3%の7万2,330t。9か月連続プラス。出荷は同じく+32.5%の7万1,811t。9か月連続プラス。今後もプラスが続くのか注視。

○アルミ輸出は、相場の急騰や比較的好調な外需を受けて大幅増。

○アルミ輸入は、国内自動車販売の好調から大幅増。

スクラップ景況予想

流通(一次問屋)在庫は、LME価格が前月一段高の2,600ドル~2,700ドル台で高止。玉不足が続く。

要面に関しては、前月に続き中国のコロナ感染拡大による部品調達遅れから自動車需要が減少。ただし、アルミの生産は減少傾向。今のところ買い気がありメーカー在庫は気薄。

LME・為替予想

今月も、①コロナ感染拡大動向(デルタ株による)。

②米中の景気動向に左右される。

③に関しては、ワクチン接種によって治まっていた欧米が再び新株(ミュー株)の感染拡大に陥ってる。ただ、今のところ感染力は未知数でデーターも少ない。

ワクチン接種の更なる拡大で感染拡大が防げるのではないかと?

②に関しては、直近の景気指標で8月の中国製造業PMI(購買担当者景気指数)が結果50.1、事前予想50.2、前回50.4となった。8月のコンファレンスボード米消費者信頼感指数は結果113.8、予想123.0、前回125.1(129.1から修正)。中国の8月の財新・中国製造業購買担当者景気指数(PMI)が昨年4月以来、初めとなる50割れ。

追加的景気対策が無ければ失速するのではないかと?

これらを踏まえた8月のアルミ価格は、2,600ドル~2,750ドル(セツル)との予想。ドル円値は109円~111円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては、据え置きから+5円程度と予測している。